

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	V 官民の役割分担
--------------	-----------

基本施策	15 多様な主体との応援協力体制の確立
------	---------------------

基本施策目標 災害発生時、関係機関や隣接事業者との情報交換を推進し、水源汚染事故等に迅速に対応できる体制を整えます。また、ライフラインに甚大な被害を与える恐れのある水道管の破損による漏水を防ぐため、事業者間の連携を密にし、リスク管理に努めます。 危機管理・防災対策としては、市民、自主防災組織、NPOなど多様な主体と応援協力体制を確立します。また、蛇口での水質検査は、市民の協力を得て実施することにより、水道に対する意識の向上を図ります。
--

計画主要施策	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 広域連携の推進	<p>〔概要〕 災害発生に備えて関係機関等との情報交換を推進し、水源汚染事故等に迅速に対応できる体制を整えます。ライフライン事業者間の連絡調整を密にし、リスク管理に努めます。</p> <p>〔取り組み〕 日本水道協会や大阪広域水道企業団等、関係機関が主催する共同訓練に積極的に参画し、連携強化を図ります。河川管理者等との連絡体制を活用し、事故発生時に迅速に対応します。危機事象発生時の代替水源の確保のため、大阪広域水道企業団との連携を図ります。ガス、電気、電信電話等のライフライン事業者との連携を密にします。</p> <p>〔目標〕 継続実施</p>	<p>大阪広域水道企業団と各水道事業者における震災対策合同訓練、応急給水訓練に参加し、災害発生時に備えた広域連携の強化に取り組んだ。水源・水質事故に係る危機管理対応について、「淀川水質協議会」「淀川水質汚濁防止連絡協議会」及び「大阪広域水道企業団」と連携を図り、降雨による高濁度などの事故対応を行った。電気、ガスなどライフライン事業者との工事情報の交換及び工事間の調整を行った。</p>	A
2 市民、NPOなどとの応援協力体制の確立	<p>〔概要〕 危機管理、防災対策などは、行政の役割と責任を明確にし、市民、自主防災組織、NPOなど多様な主体と応援協力体制を確立します。</p> <p>〔取り組み〕 ア. 地域自主防災組織の訓練に参加し、市民に対し応急給水での役割を啓発することにより、災害・事故等発生時の応援協力体制の充実を図ります。 イ. 民間事業者等と合同訓練を実施し、災害・事故等発生時における応援協力体制の充実を図ります。</p> <p>〔目標〕 ア. 継続実施 イ. 継続実施</p>	<p>市内各小学校区単位に設置されている地域自主防災組織の訓練に参加し、災害・事故等発生時の応援協力体制の充実を図った。また、枚方市管工事協同組合、(株)ジェネッツ(窓口業務等委託業者)と合同訓練を行い、大規模災害に備えた応援協力体制の充実を図った。</p>	A
3 市民参加による水質検査の実施	<p>〔概要〕 蛇口での水質検査を毎日、市民モニターに行っていただき、水道水に対する市民意識の高揚に努めます。</p> <p>〔取り組み〕 配水系統ごとに、市民モニターによる水質検査を実施します。</p> <p>〔目標〕 継続実施</p>	<p>公募の市民検査員29名(年度途中1名辞退)により、市内19の配水区域で、蛇口での毎日検査を行った。検査結果は、日々、ホームページに掲載し周知した。なお、年間を通じて結果に異常はなかった。</p>	A
協働による応急給水訓練実施回数	(参考:H21 8回 H22 2回 H23 1回 H24 1回)	H25 7回	

評価結果の説明等

「広域連携の推進」について、各種団体との共同訓練や連絡調整などにより、広域連携のが図られた。
「市民、NPOなどの応援協力体制の確立」について、地域自主防災組織や民間事業者と、訓練の実施により、応援協力体制の充実が図られた。
「市民参加による水質検査の実施」について、公募の水質検査員により蛇口での水質検査を毎日実施し、水道水に対する意識高揚に努めた。

以上、取り組み目標を概ね達成できたことから、評価をAとした。

今後の取り組みの方向性・展開方針

引き続き、大阪広域水道企業団などの合同訓練への参加などによる広域連携の推進、地域自主防災訓練への積極的な参加による応援協力体制の確立、市民参加による水質検査の実施に取り組んでいく。

★参考(計画主要施策に関連する事務事業実績測定)

事務事業名	今後の方向性	所管部署	ID
1 上下水道経営課運営事務	現状のまま継続	上下水道経営課	30385